

令和8年度 学校経営構想

<高山市立国府中学校>

I めざす学校像

【地域が願う中学生像】

- ◆ふるさとに誇りと愛着をもち、
夢に向かってたくましく生き、自らを鍛える子

【高山市の教育の方針・重点】

- ◆未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
『自分らしく一歩を踏み出し 乗り越え 挑戦する子』
プレゼン教育 キャリア教育 ICT教育 郷土教育

【生徒の実態】 ○諸活動での自己表出、多様性の理解
○よりよい生き方の理解 ⇒ △実践力

【資質・能力】 未来を生き抜くたくましさ

- ①主張 - 自分の見方や考え方 自己表出
②尊重 - 仲間の見方や考え方 相手意識
③創造 - 交流⇒新しい見方・考え方の創出

【教育目標】 人間性豊かで 活力ある国中生

2 指導方針

挑戦 ～よりよい生き方を実践する力を身につけた生徒の育成～

3 指導重点

未来を生き抜くたくましさ

◎学習 仲間と学ぶ国府中

学習活動全体で横断的に育む力

- ①主張: 自分の見方・考え方をもち、意見交換を積極的に行う。
②尊重: 相手の見方・考え方を聞き、新たな見方・考え方に気づく。
③創造: 互いの見方・考え方のよさをいかし、新たな見方・考え方を創出。

◎生活 仲間を学ぶ国府中

諸行事や生徒会活動で継続的に育む力

- ①主張: 自分のなりたい自分を表明し、実現のための努力を事実で語る。
②尊重: 仲間のなりたい自分を理解し、実現のための努力を認め合う。
③創造: 仲間の挑戦を認め、失敗しても支え合い、新しい自分を創出。

自分と国府の未来を創る「FUTURE PLAN」

◎ふるさとキャリア教育を核とした総合的な学習の時間 ※郷土教育を内包する

全ての教育活動で学んだ知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力をより高める

- ①主張: 身につけた力(基礎的汎用的能力)を認識し、なりたい自分について自信をもって語る
②尊重: 故郷で働く人や地域発展に尽力する人の思いを聞き、自分の生き方と結びつけて考える
③創造: 1年間の取組で考えた自分の将来や故郷の未来について地域に発信する

道徳教育パワーアップ実践事業【令和8&9年度】

◎文部科学省: よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業

- (1) 道徳科を要として教育活動全体で道徳教育推進を図る工夫
(2) 保護者や地域と連携した道徳性の涵養のための場の創出
(3) 道徳的価値を追求し、自己を見つめるための発問や授業終末の工夫

誰もが安心して挑戦・失敗し、成長できる学校

◎校内教育支援センター『夢見ルーム』の充実

※全校生徒に誰でも使える場所 ⇒ 学びの多様性を認め合える心を育む

夢見1: 心が疲れて教室に足が向かない時、一時的にそこで学習し、エネルギーを蓄える場
夢見2: 自分の苦手と向き合い、自分なりのペースでその克服に取り組む仲間が学習する場

国府のつながり PTA 保小中・支所 学校運営協議会 国府まち協 郷土教育

【指導の共通理解】 生徒や保護者の困り感に寄り添い、心を贈り続ける指導

- ① 子ども・学校・家庭のせいにならない(成長する職員と保護者で在り続ける)
② 子どもに軸足を置く(願うのは子どもの成長と幸せ、個々の自立を支援する)
③ 「働きやすさ」と「働きがい」のある職場(健康第一・同僚性・ウェルビーイング)
◇ 子ども(個)に向き合う(見届け、価値付け、意味指導)
◇ 全職員で全生徒を育てる(認めるべき瞬間、正すべき瞬間を逃さない)
◇ 目の前の課題を組織で解決する(報連相と初期対応。即日複数対応を原則)